

岩手県立盛岡第一高等学校

イーハトーブ世界（万人の幸福を希求するグローバル社会）の開拓者の育成

【構想の概要】

本校の研究開発は、グローバル・リーダーに求められる諸資質の涵養を目指し、大きく分けて1年生から3年生の3年間にわたり、総合的な学習の時間を活用して探究的学習に取り組むSG課題研究（海外フィールドワークもその一環とする）と、それを教科の面から補完する科目としての「グローバルコミュニケーション英語」・「グローバル現代社会」の2つの柱からなる。

地域のグローバル課題を題材とした課題研究を、学年の進行に応じて段階的に構成することにより、グローバル・リーダーが備えるべき素養を涵養し、それと並行して、既存の科目の発展的再構成を中心に、教育活動全体を通じてこれを下支えることで得られる成果の最大化をはかる。

岩手県立盛岡第一高等学校スーパーグローバルハイスクール（SGH）研究開発構想

◆目的 グローバル課題を発見し、原因を探り、解決法を探究・議論し、その成果を本国のみならず、世界のパイロットモデルとして発信する一連の取組みを通して、21世紀の理想的なグローバル社会を開拓し得る人材の育成を目指す。

◆目標
 ・グローバル課題の解決法を探究し、その成果を世界へ向けて発信するとともに主体的に課題解決に向けた実践を行う姿勢を養う。
 ・世界の諸国・諸地域の実態と抱える課題への関心を高めるとともに、論理的思考力、課題解決能力、積極性、行動力を養い、主体的な学びを醸成する。
 ・他者との相互理解・協業に必要な傾聴力、共感力、質問力、説得力を養成し、自分の考えを分かりやすくかつ説得的に伝える力を身に付ける。
 ・上記3つの目標を十分に達成するに足る実践的英語力を習得する。



イーハトーブ世界の開拓者の育成

東日本大震災からの復興
 ・著しい高齢化
 ・世界各地で発生が懸念されるグローバル課題が先鋭的に存在
 ・ILC誘致活動
 ・宇宙の誕生の解明

SG課題研究Ⅲ（3年普通科全員）

・岩手から国内および海外へ研究成果を発信

・英文による論文作成 ・英語による成果発表

SG課題研究Ⅱ（2年普通科全員）

・論理的思考力、問題解決能力の育成
 ・課題研究のテーマ 『岩手が抱える6分野の諸問題をグローバルな視点で解決する探究活動』
 ① 21世紀型地方都市の探究 ② ローカルな魅力を活かしたグローバル観光モデルの探究
 ③ Made in Iwateブランドの確立に向けた探究 ④ グローバルスタンダード教育モデルの探究
 ⑤ グローバルな知の拠点の創設に向けた探究 ⑥ 世界を支える地域医療の探究

・課題研究発表会 ・連携大学や企業との共同研究 ・SG海外研修（台湾） ・SG講演会

SG課題研究Ⅰ（1年全員）

・問題発見能力、コミュニケーション能力の育成

フィールドワーク、グループワーク、ディベート、プレゼンテーションという一連の取組みを通じてグローバル課題の抽出からその解決法の模索までの探究活動

・実践的英語力の育成
 「グローバルコミュニケーション英語」
 ・国際時事問題に対する関心と専門性の育成
 「グローバル現代社会」

岩手大学、岩手医科大学、東北大学など
 ・指導プログラム開発への助言
 ・講義（講師派遣、サテライト授業）
 ・TA（大学生、大学院生の派遣）
 ・留学生とのディスカッション

企業、国際機関、海外の大学海外の高校など

◆これまでの取組み
 ◇国際交流事業（SS5～）
 ・海外派遣研修（のべ483名）
 ・外国人高校生受入（のべ252名）
 ◇理教科振興プログラム
 ・課題研究（連携：岩手大学等）
 ・つくば研修
 ・施設見学実習

課題研究以外の取組み

- 海外派遣研修「白鷺の翼」
- 約1か月の本校独自の海外派遣事業
- グローバル研究会
- 外国人高校生招致
- SGH、SSH校との合同発表会
- 英語版学校案内
- 英語部の活動充実
- 外国大学進学研究

令和元年度 入学者の在学期間の教育課程【数字は週あたりの授業時数】

課程	第1学年	第2学年系	第2学年系	第3学年系	第3学年系	第2学年	第3学年
普通科	国語総合 5 現代社会 2 数学Ⅰ 3 数学Ⅱ 1 数学Ⅲ 2 物理基礎 2 生物基礎 2 体育 3 保健 1 芸術Ⅰ 2 コミュニケーション英語Ⅰ 4 英語表現Ⅰ 2 家庭基礎 2 情報科学 2 総合 1 LHR 1	現代文B 2 古典B 3 世界史B 4 *日本史地理 4 数学Ⅱ 4 数学B 2 自然科学A・B 2 地学基礎 2 化学基礎 2 体育 2 保健 1 芸術Ⅱ 1 コミュニケーション英語Ⅱ 4 英語表現Ⅱ 2 総合 1 LHR 1	現代文B 2 古典B 3 地理A 2 *地理B 3 数学Ⅱ 3 数学Ⅲ 1 数学B 2 中物理生物 3 化学 2 化学基礎 2 体育 2 保健 1 芸術Ⅲ 1 コミュニケーション英語Ⅲ 4 英語表現Ⅲ 2 総合 1 LHR 1	現代文B 3 古典B 3 *世界史A・日本史地理 4 数学Ⅱ 3 数学Ⅲ 2 自然科学A・B 4 体育 3 芸術Ⅳ 4 コミュニケーション英語Ⅳ 5 英語表現Ⅳ 2 総合 1 LHR 1	現代文B 2 古典B 3 *地理B 3 数学Ⅲ 8 中物理生物 4 化学 5 体育 2 コミュニケーション英語Ⅴ 4 英語表現Ⅴ 2 総合 1 LHR 1	現代文B 2 古典B 3 世界史A 2 地理B 3 体育 2 保健 1 コミュニケーション英語Ⅵ 4 英語表現Ⅵ 2 理数数学Ⅱ 4 総合 2 中物理生物 理数物理 理数地学 理数化学 2 課題研究 1 LHR 1	現代文B 2 古典B 3 地理B 2 体育 2 コミュニケーション英語Ⅶ 4 英語表現Ⅶ 2 理数数学Ⅱ 5 理数数学特論 4 中物理生物 理数物理 理数地学 4 理数化学 5 総合 1 LHR 1

総合的な学習の時間を軸とした SG 課題研究

総合的な学習の時間の中で、3年間を通じた探究的学習のプログラムを確立

(1) SG 課題研究Ⅰ（1年次）

3年間にわたり展開する SG 課題研究の導入に当たる本取組では、とりわけ「課題の発見」を重視し、本校が所在する岩手県というローカルな視座からグローバル課題を俯瞰し、それに関わる社会人と交わることを通じ、課題発見から調査、そして解決策のプレゼンテーションという一連の探究のメソッドを習得することを目的としている。盛岡市との連携による地方創生プログラムと関西フィールドワークを通じてアクションプランを策定、実践に繋げる。

(2) SG 課題研究Ⅱ（2年次）

岩手県が抱える様々なグローバル課題を発見し、多角的な視座からその原因と解決策を追究するとともに、具体的な行動へと移す能力を高めるため、特に喫緊の課題であり、かつ普遍性の高い6つのカテゴリーを設定し、課題研究に取り組む。SG 課題研究Ⅰとの接続を考慮し、アクションプランを実行する中でその結果を検証するところから新たな探究を導き出すような構成としている。

(3) SG 課題研究Ⅲ（3年次）

2年間の研究成果を英語でまとめ、相互にプレゼンテーションし合うことで、国際的な発信力を涵養するという仮説のもとで行われる、3年間にわたる SG 課題研究の集大成となる取り組みである。

(4) 台湾フィールドワーク

1,2年生の希望者12名を選考し15日間台湾へ派遣。個々の研究のためのフィールドワークを実施。

成果の発表と普及

(1) 成果発表

- ・課題研究発表会（各学年）
- ・SGH・SSH校との合同発表会
- ・東北地区 SGH 課題研究発表フォーラム
- ・岩手県教育研究発表会
- ・行政機関との意見交換
- ・マイアワード等での発表



(2) ILC 推進校成果交流会の実施

最先端の素粒子物理学の実験施設である ILC（国

際リニアコライダー）の誘致は岩手県が掲げる県政課題の一つであり、その実現に向け、8つの県立高校（内 SSH2校、SGH1校）がモデル校に指定された。

指定校の一つである本校が主管となり、岩手県科学 ILC 推進室と連携して、指定校の生徒が一堂に会し、取組の成果と課題を共有する成果交流会を立ち上げ、2019年2月19日に実施した。



特色ある取り組み

(1) 「白鷺の翼」

創立100周年を記念して発足した本校独自の生徒海外派遣事業。平成30年度は40回目で10名の生徒を約1ヶ月イギリスへ派遣。

(2) 「課外活動としての外部機関での探究活動」

- ・盛岡市福祉人材育成事業
- ・「盛岡という星で」SNS活用講座
- ・盛岡まなび会議



(3) 「英語部の活動充実」

- ・SGH 指定後、ディベート大会で全国大会へ

(4) 「外国大学進学研究」

- ・台湾留学セミナーを実施。高校卒業後、直接台湾の大学への進学する生徒も出てきている。

今後の探究的学習のプログラム

今までの課題研究や台湾フィールドワークで培った、国内外の研究協力機関との関係を継続し、限られた人的・時間的・予算的リソースの枠内でよりバランスの取れた能力の伸長を図り得る持続可能な本校オリジナルの探究学習モデルの完成を目指す。

	SG 指定期間（令和元年）	SG 指定期間終了後
内容	SG 課題研究	総合的な探究の時間
SG 課題研究	・外部指導者による指導 ・指定終了後の課題研究の態様になるよう、研究をすすめる。 ・全職員で取り組む体制の構築。	・市役所、大学、民間団体等の今まで培った外部機関をフルに活用し、指導していただける体制をつくる。盛岡市との共同プログラムを継続、深化を図る。
海外 F W	・台湾での連携機関を確立し、指定終了後も継続を目指す。	（予定案） ・R2年、R3年は同窓会からの支援を受け、指定期間同様派遣された生徒による派遣を行なう。 ・R4年からは1年次で行なっている「関西研修旅行」を台湾に変更し、2年次で実施。連携機関との交流や F W を行ない、課題研究Ⅱとの連携を図る。
I C T 機器	・SG 予算で大型プリンター、タブレット端末等の機器を整備 ・情報管理課と連携して、より良い機器のあり方、使い方の検討	・SG 予算がなくなるので、学校予算の中でできることに集約せざるを得ない。 ・校内 WiFi の整備。端末は個人のものを利用。 ・大型プリンタは必要
進路関係	・生徒の活動を記録できるポートフォリオの様式の開発と運用。 ・AO 入試等への活用を検討	・新入試制度ではポートフォリオが必要。 ・AO 入試等で活用
運営主体	・SG 推進課 ・新学習指導要領検討委員会で次年度の体制を検討	（予定案） ・「総合的な探究の時間」の運営主体となる新たな組織の設立